

2024年9月のブルーベリー農園その4

東広島市豊栄町のブルーベリー農園も日中は30度を超える日もあり彼岸を過ぎても暑い日が続いている。油断して熱中症にならないように保冷剤を首に巻いて盛夏の時の同じ気持ちを持ちながら安芸区の自宅から農園に通っている。10月に入ると台風の影響で3~4日雨が降りそうなのでそれまでにブルーベリー畑に敷いていた防草シートをはがし、そののちに緑肥用の種をまき、草を刈る予定でまいた種の芽が出るのが楽しみ。

9月23日(月) 日中は暑いがブルーベリー農園の空はぽっかり雲などが浮かんで秋が進行中



9月26日(木) 空がたかくて、生き物も気持ちよさそうなとまり具合

① アキアカネ

9月24日(火) ブルーベリー畑に敷いていた防草シートをはがす作業では始めに重しに使用している瓦をブルーベリーの株元に置いて回る。数が多いので瓦をつかむ親指の付け根がこってきた



この作業をしているとブルーベリーの地際にシンクイムシの木くずが出ていることがあるのでそのたびに殺虫剤を注入する



② クモ(ジョロウグモらしい)、よく見ると子どももとまっている。食料もしっかりためている



9月27日(金) ブルーベリー畑では厄介な雑草がだんだん増えてきたので幅の細いシャベルを掘り上げて除草する。



雑草をよく見るとスミレの株が太っているのが見えた。これは取らないでおく(手前の2つの株)



夕方の農園の周辺の一部の稲田はまだ稲穂がたわわに実っている。夕日で黄金色が一段と強い



9月28日(土) 今月中に緑肥用の種をブルーベリー畑にまく計画で、購入した種をごちゃまぜにしては

まくので3段ある畑別に分量を分けて準備する



小鍋に種を入れてブルーベリーの木の周辺に手でばらまいていく。一番上の畑がすんだ



草むらのバッタはショウジョウバッタのよう



2024年9月30日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良

《2024年9月30日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》